

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします
施策	2	駅前周辺がにぎやかなまちにします
		担当部(統括部) 都市整備部

【実現している姿】

目標	JR千里丘駅西地区は駅前広場などが整備され、魅力的な地区となっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	阪急正雀駅前は基盤整備が進み、安全性・快適性が向上しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	駅前周辺が多くの人でにぎわい、活気ある場所となっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
JR千里丘駅西地区のまちづくり	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	着手
	実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阪急正雀駅前の基盤整備	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	推進
	実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎JR千里丘駅西地区のまちづくり							平成26年度事業費計 12,212千円
地権者との協力により、区域の見直しなども含め、まちづくりに向けた合意形成を図り、早期の着手をめざします。							
平成26年度事業	◇千里丘西地区市街地再開発支援事業12,212千円(都市計画課)						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間		後期終了年度	
				平成27年度	平成28年度	平成32年度	
計画	土地所有者など関係権利者の意向を踏まえ、今後のまちづくりの方向性に対する意思決定を図る	土地所有者など関係権利者によるまちづくりに向けた調査・検討に対する支援	土地所有者など関係権利者によるまちづくりに向けた調査・検討に対する支援	土地所有者など関係権利者によるまちづくりに向けた調査・検討に対する支援	土地所有者など関係権利者によるまちづくりに向けた調査・検討に対する支援	都市計画決定	
取組実績	土地所有者など関係権利者の意向を踏まえ、今後のまちづくりの方向性に対する準備組合が意思決定に向けて協議を進められた。						
成果	準備組合が、土地所有者など関係権利者の意向を踏まえ、今後のまちづくりの方向性に対して、調査・検討すべく意思決定を行った。						
次年度課題	土地所有者など関係権利者への理解、協力を高められるよう、準備組合によるまちづくりへの調査・検討に対する技術面、資金面の支援が必要である。						

◎阪急正雀駅前周辺の整備						平成26年度事業費計 10,800千円
安全性・快適性を高めるため、基盤整備を図ります。						
平成26年度事業	☆市内循環バス運行補助事業10,800千円(道路交通課)					
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	課題に対して関係機関との協議・調整	—	—	—	—	基盤整備の推進
取組実績	参加者提議の課題として、「地域防災」について意見交換が主に行われた。また、正雀地区内の住民による「まち再発見」の活動として「ました探訪ウォーキング」に多くの住民参加による活動を実施した。					
成果	参加者提議として「地域防災」が採り上げられ、地域防災への意識の高まりとともに、まちづくりへの意識が向上した。課題に対して関係機関との協議、調整が住民参加のもと実施できた。					
次年度課題	今までワークショップの内容について、住民目線での課題を主に採り上げ、「人材育成」「ソフトのまちづくり」を実施してきたが、今後の正雀地区のまちづくりに関して、公共交通アクセス等まちの活性化等の課題について検討が必要である。					
計画	—	—	十三高槻線正雀工区側道供用開始に伴う、正雀地区住民の利便性向上のためのバス路線の運行ルートを検討	—	—	
取組実績						
成果						
次年度課題						

○駅前周辺の活性化						平成26年度事業費計 123千円
地域活動に対する支援や、協働による取組みの充実を図ります。						
平成26年度事業	◇阪急正雀駅前地区整備支援事業123千円(都市計画課)					
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	地域活動を回覧・広報紙等でPR	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	駅前周辺活性化のための協働事業の実施
取組実績	活動内容については、市ホームページを活用し広報に努めた。また「ました探訪ウォーキング」では、自治会回覧・地域広報板で案内を行った。					
成果	「ました探訪ウォーキング」は多くの市民の参加のもと実施することができた。					
次年度課題	活動内容のPRを行い、市民・事業者・学生・団体との地域活動につなげていく。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

協働による駅前周辺の活性化						平成26年度事業費計 123千円
市民、事業者、大学、NPOなどの協働による地域活動を通じ、駅前周辺の活性化を図ります。						
平成26年度事業 ◇阪急正雀駅前地区整備支援事業123千円(都市計画課)						
	平成24年度	平成25年度	第4期実施計画期間			後期終了年度
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	地域活動を回覧・広報紙等でPR	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	地域(市民・事業者・学生・団体など)によるまちづくり活動の支援、正雀ワークショップのあり方、活動について検討	駅前周辺活性化のための協働事業の実施
取組実績	住民参加による「まち再発見」の地域活動として、「ました探訪ウォーキング」では、自治会回覧・広報板等で案内を実施した。					
成果	「ました探訪ウォーキング」は多くの市民の参加のもと実施することができた。					
次年度課題	地域活動内容のPRを行い、市民・事業者・学生・団体との地域活動につなげていく必要がある。					